

岡崎市は、家康公生誕の地として、令和5年の大河ドラマ放送により全国的に知られることとなりましたが、家康公生誕前から東西交通の要所として古から栄え、中世には源氏、足利氏の武家文化の重要拠点、また江戸時代には岡崎城下町として発展し、今日まで脈々と郷土の歴史文化が受け継がれています。そのような中、岡崎文化協会は昭和50年12月に美術部会、芸能部会、文化部会の3部会の構成で設立しました。

現在、様々なジャンルの63団体及び1個人がこの3部会に所属し、色とりどりの文化芸術活動を行っています。

創立50周年を迎える本年、記念事業の1つとして、岡崎文化協会のホームページを立ち上げました。このホームページは、岡崎文化協会の機関誌(『藤花』、『岡崎文化』)の内容を引継ぎ作成したものです。岡崎文化協会の活動が広く世界中のどなたでもご覧いただけるようになったことを心から嬉しく思います。

私たちは常々、わくわくするような文化芸術がまちじゅうにあふれ、たくさんの方が、文化芸術の持つ明るさや楽しさ、励ましさやぬくもりを感じ、強さや優しさを見つけることができれば、生きる喜びにつながると考えています。岡崎文化協会は、文化芸術活動を通じて、このような「文化芸術にわくわくするまちをつくる」ことを念頭に活動をしています。文化芸術に対する私たちの熱い思いを多くの方にお届けし、ともに生きる喜びや勇気につなげることができるならば、私たちにとっても最高の幸せとなるでしょう。

どうぞ皆様、岡崎文化協会の事業にご参加いただき、一緒に「文化芸術にわくわくするまち」をつくりましょう。

令和7年 1月 吉日 岡崎文化協会 会長 渡辺傳次郎